

[目 次]

1999・4

ページ

巻頭グラビア	すばるファーストライトギャラリー	
SKYLIGHT 〈今月の焦点〉	太陽光球における微細磁束管のダイナミクス	竹内 彰 継 210
EUREKA 〈研究紹介〉	赤色巨星の赤外スペクトル — ISO/SWS でさぐる外層大気	青木 和 光 216
	ガンマ線バーストと宇宙の星形成史	戸谷 友 則 223
シリーズ	《 ^{そらと} 天空翔ぶ天文台(4)》 赤外線天文観測衛星 ASTRO-F (IRIS)	ASTRO-F チーム 230
ASTRO NEWS	すばるファーストライト速報!	家 正 則 232
書評	理科年表読本 気象データひまわりを楽しむ本 EXCEL による気象データ CD-ROM の読み方・使い方	234
	プラネタリウムへようこそ ～ 星空を創る人々の知られざる世界	235
雑報	日本天文学会早川幸男基金による 渡航報告書	236
月報だより		238
星空市場		245

[表紙説明]

すばる望遠鏡で撮られたオリオン大星雲中心部の赤外線モザイク画像 (4.3 分角×4.8 分角)。星像は約 0.3 秒角にも達し、すばるの高い結像性能が遺憾無く発揮されている。中心にはトラペジウムが、左下にはオリオン・ブライトバーが見える。右上の BN-KL 領域に拡がる水素分子輝線 (赤色) で明るい星雲は、大質量原始星 IRC2 近傍からのアウトフローにより励起されて輝いている。その特徴的な突起構造はフィンガーと呼ばれる。

(ASTRO NEWS および巻頭グラビア参照)

(表紙イラストレーション：藤居保子)